

令和 2 年

第 4 回（1 2 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通告者	7番 横山聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 官製談合について</p> <p>今年9月16日に本町職員が官製談合防止法違反と公契約関係競売入札妨害の容疑で逮捕、10月7日に起訴され、11月18日初公判・結審、12月4日に判決がだされた。</p> <p>これにより、全容が解明された。そこで、町民に対して分かりやすく説明をされたい。</p> <p>(1) 事件から現在に至るまでの経過と対応は。</p> <p>(2) 今後の対策はどうなるのか。</p>		
	<p>2. 飼い主がいらないネコ問題について</p> <p>飼い主がいらないネコ、いわゆる野良ネコ・捨てネコ問題は、長い間、有効な解決手段がなかった。</p> <p>近年、そのようなネコを個人で保護し、安全や命を守りたい人と、迷惑を感じる人との間でトラブルになるケースもあると聞く。一方、そのような問題を解決するため先進的な取組みが始まっている自治体もあると聞く。</p> <p>(1) 飼い主がいらないネコをとりまく現状と課題は。</p> <p>(2) 今後、解決手法をどう考えるか。</p> <p>(3) 野良ネコ問題について、学びあう機会を作れないか。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	2	通告者	3番 田 添 有 喜 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 住民の安全・安心な生活環境保持について</p> <p>近年、毎年のように住民を脅かすほどの大雨や台風が発生し、農作物をはじめ、民家被害や土砂災害等が発生している。</p> <p>また、二級河川川棚川（波佐見川）においても、大雨や台風接近時の河川の増水状況は、住民の大きな恐怖となり、今後の生活において河川の氾濫等への不安は大きいものがある。</p> <p>そこで、次の事項について問う。</p> <p>(1) 近年の大雨や台風等における災害状況はどうか。</p> <p>(2) 災害等の状況把握の方法は、どのような手段で行っているのか。</p> <p>(3) 災害復旧工事において、国、県及び町の補助金は、現段階でどの程度を要したのか。また、町としては、予算内で対応できているのか。</p> <p>(4) 河川法では、河川管理者（都道府県知事）は、「河川整備基本方針」や「河川整備計画」を定め、市町村長の意見を聴かなければならないとなっており、公表するようになっている。</p> <p>そこで、これまでにどのような意見や要望を町長として述べてきたのか。 (河川法：第15条の4、第16条、第16条の2)</p> <p>(5) 「第10次波佐見町基本計画」や「波佐見町景観計画」の計画策定にあたり、景観の維持に対する町民からの意見や要望等はかなり多いと思うが、今後の取り組みはどうするのか。</p> <p>(6) 平成30年第2回6月議会及び令和元年第2回6月議会において、町長から、「引き続き県へ流木伐採等の要望を行う」との答弁があった。その後、河川整備について県にどのような働きかけを行ったのか。</p> <p>(7) 現在、儲かる農業の推進が提言されているが、河川内に住み着いているイノシシにより被害も見られている。また、このことが児童の通学路にも影響を与え、通学路の変更をも講じないといけない現実がある。このような実態に対して、どのような対策を講じようと考えているか。</p> <p>2. 交通環境の整備・改善について</p> <p>「来なっせ150万人」という観光客の来町目標を掲げる中で、高齢化や防災に強い町づくりを考えた時、交通環境（県道・町道・農道）を整備及び改善することは、町民の大きな願いの一つである。</p>		

<p>質 問 事 項 及 び 要 旨</p>	<p>そこで、次の事項について問う。</p> <p>(1) 施工にあたりいろんな縛りがあると思うが、これまで行われた道路工事について、計画性と緊急性の面において疑問がある。多額の予算を講じて行われる工事であるため、10年後20年後といった先を見据えた工事と緊急性を考慮した工事を行うべきだと思う。そのことが住みよい町波佐見の実現や定住者の増加にも繋がり、人口増や町の活性にも通じると思うがどうか。</p> <p>(2) 高齢化が進む中、また、障害を持つ方に対して、生活しやすい歩道の整備が行われているか。また、町内の歩道の整備状況について、どのように考えているか。</p> <p>(3) 地元住民をはじめ、観光客等の車両が増加傾向にある中、歩道整備の際は、町内全ての歩道を「自転車通行可」にすべきと考える。また、歩道の計画的な雑草の除去（草刈り）を行うべきであると考えているがどうか。</p> <p>(4) 交差点等に設置してあるポール（赤色）は、車両等の規制のためと思うが意味をなさないポールがあり、設置は本当に必要なのか。 また、町民が疑問に思っているのが道路工事完了後にポールの設置をされていることである。このことは、施工計画時の問題と考えるがどうか。</p> <p>(5) 宿の交差点について、横断歩道の位置の移動や歩行者優先の「歩車分離式信号機」の設置を考えてはどうか。近隣では、嬉野市立嬉野小学校区内の鷹ノ巣交差点に設置（嬉野みゆき通り）されている。</p> <p>(6) 通学路の安全対策上、雨天時の歩行者（児童・生徒）の安全確保が十分でないため、道路舗装工事の計画の見直しはあるのか。</p> <p>(7) 南小学校区の鶴川理容店前に信号機を設置することで、どのような交通事情を予想しているのか。 また、登校時の交通量から、信号機が設置されることにより、小学校校門前の渋滞により、児童の通学に影響を与えると思うが、設置にあたりどのような状況を想定しているのか。</p> <p>(8) 児童の登下校については、波佐見高校正門前を横断させた方が児童の安全は確保できると考えるが、保育園との関係もあると思う。検証期間が必要であると考えているがどうか。</p>
--	--

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	3	通告者	4番 岡村達馬 議員
質問事項及び要旨	<p>1. 西ノ原土地区画整理事業について</p> <p>(1) 町は、多くの都市整備手法の中からなぜ土地区画整理事業を選択し、取り組んだのか。</p> <p>(2) 町の賑わいの場、おもてなしの場としての西ノ原地区の必要性と要件は何か。</p> <p>(3) 町が実施している公共事業であり、関係者や町民に対して、完成までの明確な期間と道順を示すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 町には、区域内の土地・家屋を厳しく制限する強い権限が与えられているが、それはなぜか。</p> <p>(5) 地区内関係者の協力を強く得ながら、なぜ町は積極的に取り組めないのか。また、工事の長期化により地区内関係者は生活、人生設計が出来ない状況にある。</p> <p style="padding-left: 40px;">このような問題及び課題に町として、どう対応していくのか具体的な説明を。</p> <p>2. 災害発生時の緊急避難対策について</p> <p>(1) コロナ禍の自然災害時の対応と対策はどのようになっているのか。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、9月の台風10号での対応と対策で得たもの、反省や今後の課題とすべき事は何であったか。</p> <p>(2) 玄海原発事故時における避難（受入れ）対策で、新型コロナにより、これまでと違う対応が求められると思うが、見直しは行っているか。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、本町は、松浦市からの避難地に指定されているが、受入れのキャパシティや支援態勢は十分に確保されているのか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	4	通 告 者	11番 藤川法男 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町の産業振興について</p> <p>本町は、経済基盤である地場産業の窯業と農業、そして今後成長が望まれる観光事業を推進している。しかし、コロナ禍において大きな打撃を受けている中、来年度に向けてどのような予算措置を考えているのか。</p> <p>(1) 今年の「春の陶器まつり」は中止となり「ネット陶器市」、秋には「あっちこっち陶器市」が行われた。業界の要望もあるがコロナ禍の時代にどのような支援策があるのか。</p> <p>(2) 本町の駄野地区では、農業競争力強化基盤整備事業による農地の圃場整備が実施され、野菜等の園芸作物と水稻の「複合的農業」ができるよう進められているが、将来、経済的に安定しないとすると農業の担い手も無くなると思われるため、販売等を含めた事業も実施すべきではないか。</p> <p>(3) 観光事業は、陶器販売に関する事業や体験型の陶農があり、観光協会が中心となって行われるが、来期の計画はどうか。また、町の行事も多岐にわたり人手不足の懸念もある中、どのように推進するのか。</p> <p>2. 公共事業の優先順位と進め方について</p> <p>自治会からの要望は多岐にわたっているが、町道整備(通学路)や避難所となる公民館整備、公営住宅建替えなど、財源不足で進展していない。</p> <p>しかし、長期化の西ノ原土地地区画整理事業、建設中の歴史文化交流館(仮称)、及び新庁舎建設など多額の予算措置を要する。どの様に推進するのか。</p> <p>3. 官製談合について</p> <p>本町は、町民に対して公平・平等の精神を基本に町政運営しているが、「相次ぐ官製談合により、その精神が失墜した」との声も多い。</p> <p>また、外部有識者を交えた検討委員会の提言も活かすことが出来ず、非常に失望し憤りを覚える。今回、新しく発足した検討委員会の違いと今後の対策は。併せて、町民への説明と謝罪は十分か。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	5	通告者	6番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 官製談合事件の発生の経緯と再発防止対策について</p> <p>官製談合防止法違反により、本町職員が逮捕、起訴され先日初公判が行われた。2度目の官製談合事件の発生という事実はもちろん、公判で明らかにされた契約関係の実態からも、一職員の責任に留まらず、町役場という組織自体の体質が問われている。</p> <p>崩れてしまった信頼を取り戻すためにも、問題点を検証し、組織を抜本的に見直す必要がある。</p> <p>(1) 事件の発生をどのように捉え、今後どう対策を進める方針か。</p> <p>(2) 捜査及び公判にて、問題を指摘された業務には、どのようなものがあるか。</p> <p>(3) 事件に至る問題点の検証及び組織の見直しについて、外部専門家による組織を作る考えは。</p> <p>2. 町内の公的インターネット環境整備について</p> <p>来年春より、小中学校にて児童・生徒1人1台のタブレット配布が実施される。</p> <p>また、役場として町内外に対する情報発信の重要性は日々高まっており、町民ニーズに応えるためにもインターネットを活用したハード・ソフト両面からの基盤整備が必要不可欠である。</p> <p>一方で、役場や学校におけるインターネットを使った施策は、県内の他市町と比べて遅れている。</p> <p>(1) 現状の行政サービスについて、インターネットなどの技術活用の具合をどう考えているか。</p> <p>(2) ICTを活用する時代に即した行政に転換すべく、職員に専門人材を受け入れる考えは。</p> <p>(3) 町内のインターネット活用事業者から行政サービスに対して、改善提案を受ける考えは。</p> <p>(4) 庁舎及び公共施設、加えて地域の公民館に対してWi-Fi整備を進める考えは。</p> <p>(5) 学校及び公共施設を結ぶインターネット回線の環境は、GIGAスクールに十分対応するものか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	6	通告者	9番 北村清美 議員
質問事項及び要旨	<p>人口減少によるひずみが各所にでている。そこで、次の事項について問う。</p> <p>1. 定住奨励金制度について</p> <p>(1) 平成30年度から3年間続けられているが、状況は。</p> <p>(2) 制度の周知は。</p> <p>(3) 問題点と今後の計画は。</p> <p>2. 今後の消防団のあり方について</p> <p>(1) 現状の定数、待遇等は。</p> <p>(2) 問題点と将来の方針は。</p> <p>3. 下水道及び合併浄化槽について</p> <p>(1) 下水道及び合併浄化槽の現状と問題点は。</p> <p>(2) 今後の計画は。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	7	通告者	1番 澤田昭則 議員
質問事項及び留意旨	<p>1. 波佐見町歴史文化交流館（仮称）について</p> <p>本町の文化財行政は、教育委員会が担っており、窯跡の発掘や波佐見焼の成り立ち、また、貴重な歴史・文化・伝統を伝える古文書等の研究が行われてきた。</p> <p>この歴史文化交流館（仮称）の完成により、貴重な文化財が展示・公開されることで、町民や子供達が波佐見の歴史・文化・伝統を見て触れて学べる施設になると大変期待している。また、町内外の交流・観光の拠点として、更なる波佐見町の活性化が期待できる施設になるものと思われる。</p> <p>しかし、未だに町民への理解は、得られていないため、施設の企画や運営を町民に周知していただきたい。そこで、次の事項について問う。</p> <p>(1) 正式名称は、「波佐見町歴史文化交流館」と予定されているが、波佐見町総合文化会館を「ウェーブホール」と言うように愛着ある呼びやすい略式名称は、付けられないのか。</p> <p>(2) 開館の正式な日程、入館料及び施設の休館日、また、コロナ対策による入場制限は決定しているのか。</p> <p>(3) 開館にあたり、プレオープン（町民各地区優先招待など）の企画や運営を特別に考えているのか。</p> <p>また、オープニング用などボランティアスタッフの募集を運営上、考えているのか。</p> <p>(4) 近隣周辺での交通安全対策（施設入口の交差点の電柱の移設撤去や新たな感知式の信号機の設置など）や環境整備対策（樹木付近や道路への落葉）などは、考えているのか。また、準備はできているのか。</p> <p>(5) 大型バス用の駐車場や乗り降りの場所などは、計画されているのか。</p> <p>(6) 陶芸の館（やきもの公園の安全な駐車場完備）とのシャトルバスなどの移動交通手段は考えているのか。</p> <p>(7) 施設の完成も近づき、施設の案内板や「ようこそ！波佐見町へ」など観光案内の看板を主要な所に設置する計画はあるのか。</p> <p>(8) 施設内の町民ギャラリー（講座室）や交流・休憩スペースを町民が利用したい場合は、相談できるのか。</p>		

質問の相手	教育長

通告順位	8	通告者	12番 今井恭照 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. コロナ対策について</p> <p>新型コロナウイルスの感染者は、全国各地で日々増加するとともに重症化し、病床の確保が懸念されている。幸いにも本町においては、今のところ感染者は確認されていないが、いつ発生してもおかしくない状況にある。今後も罹患者がでないことを願い、次の項目を問う。</p> <p>(1) これまでの新型コロナ対策の財源と使途の現状は、どうなっているのか。</p> <p>(2) 今後の新たな対策の考えはないのか。</p> <p>(3) 学校現場におけるコロナ対策は。</p> <p>2. 河川の環境保全について</p> <p>本町を流れる川棚川においては、樹木の伐採や浚渫を管理者である県に要望している現状である。そこで、次の項目を問う。</p> <p>(1) 要望に対して、県の回答は。</p> <p>(2) 樹木の伐採については、町独自でも河川の調査を行い、樹木が大きくなる前に処理できないのか。</p> <p>(3) 各小学校区内では、鮎の稚魚の放流が行われているが、最近では、サギ類やカワウなど野鳥が増加しているようだ。</p> <p>在来種であるフナやハヤなどの生態系に影響はないのか。</p>		

質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	9	通告者	2番 岡村 真由美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 「波佐見ケーブルテレビ」の整備及び加入状況について</p> <p>「波佐見ケーブルテレビ」の前身は、昭和55年設立の「波佐見有線テレビ」と伺っているが、平成17年には、鹿島市の「(株) ネット鹿島」に経営が移譲され、現在に至っている。</p> <p>民間会社の事業とはいえ、今では町政をはじめ本町に関わる情報発信の媒体として重要な役割を担っていると考える。また、町内の各種情報の放映によって町民の一体感や郷土愛の醸成にも資するところ大である。更に、災害等、非常時の時々刻々の情報を映像で視覚的に提供できるという優れた特質を持つという点で、PC等に馴染めない高齢者世帯にとっては、特にケーブルテレビは手軽で有効である。</p> <p>ところが、視聴可能エリアが広がる中で、現在でも一部の地区・地域においては、未整備のままで整備の見通しも立っていない。同じ町内に住みながら情報アクセス上の格差が生じている。</p> <p>そこで、次の事項について問う。</p> <p>(1) 「町民チャンネル (テレビ波佐見)」の果たしてきた役割をどの様に評価しているか。</p> <p>(2) 未整備地区、区域の実態を正確に把握していたか。</p> <p>(3) 今後、町として整備事業に積極的に関わる考えはないか。</p> <p>(4) 未整備地区、地域の整備事業に対して町の助成、支援は望めないか。</p> <p>また、国の支援はどうか。</p> <p>(5) 未整備地区、区域の自治公民館が加入できるよう、支援は出来ないか。</p>		
	<p>2. 小中学校の「支援員」について</p> <p>小中学生がいない家庭には、馴染みのない「支援員」であるが、子供達の学力向上には、不可欠な人材だと考える。国の「GIGAスクール構想」の前倒しで、本町においても、生徒1人に1台のタブレット端末の配付とそれに伴う高速通信ネットワーク整備事業が急ピッチで進められている中、学校現場で必要とされる「ICT支援員」の確保が懸念される。</p> <p>そこで、次の事項について問う。</p> <p>(1) 「支援員」を導入した経緯とその種類、学校別の雇用状況は。</p> <p>(2) これまでの「支援員」の募集方法、応募資格、及び応募者数の推移は。</p>		

	<p>(3) 各学校の I C T 担当教諭の声、校務 I T 推進委員会で協議された内容は。</p> <p>(4) 電子黒板・電子教科書、P C 教室、及び生徒用 P C の整備状況と活用状況は。</p> <p>(5) オンラインでの授業、また他校生等とのオンライン交流の実践事例は。</p> <p>(6) 「I C T 支援員」の導入計画は。</p>
質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	10	通 告 者	10番 脇 坂 正 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 官製談合の再発防止と職員の綱紀粛正について</p> <p>入札に伴う不祥事を受け、本町議会は9月議会で「官製談合の再発防止と職員の綱紀粛正を求める決議」を可決された。不祥事が起こった原因やその後の経過、防止対策等について問う。</p> <p>(1) 不祥事が生じた原因は。</p> <p>(2) 再発防止策の骨子及びタイムスケジュールは。</p> <p>(3) 入札制度の見直しは。</p> <p>(4) 行政職の同一部署勤務、及び同一業務担当はそれぞれ何年か。</p> <p>(5) 不祥事も危機管理の一環である。危機管理委員会（仮称）を常設する考えはないか。</p> <p>2. ジャンボタニシの生育拡大対策について</p> <p>近年、町内の水田や用水路でジャンボタニシ（スクリミンゴガイ）が異常に繁殖し、田植え直後の柔らかい稲に食害が起こっている。外来種の生物が繁殖することは、生態系にも悪影響を及ぼすことが考えられる。</p> <p>そこで、次の対策等について問う。</p> <p>(1) 町内における生息状況（範囲）とその経緯は。</p> <p>(2) 農作物等の被害状況は。</p> <p>(3) 在来生物や河川への影響は。</p> <p>(4) 生息拡大の防止策は。</p> <p>(5) 町民特に農業者等への啓発は。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う支援策について</p> <p>新型コロナウイルスの国内感染者は、一時減少するかと思われたが、最近は大増に増加に転じている。</p> <p>G o T o トラベル等の施策で好転するかに見えた産業、経済界も業種によっては厳しい状況が続いている。</p> <p>引き続き、支援給付金の交付が必要と考えるが、次の事項について問う。</p> <p>(1) 「波佐見町新型コロナウイルス感染症緊急経営支援給付金」及び「新型コロナウイルス感染症緊急農畜産業支援給付金」の申請件数、交付金額はそれぞれいくらか。また、その効果はどうか。</p>		

	<p>(2) 上記の支援給付金は、第2弾として追加交付が必要と思うが実施できないか。</p>
質問の相手	町 長 ・ 教育長

通告順位	1 1	通告者	5番 福田勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 教育行政について</p> <p>本町の児童・生徒の学力については、毎年行われている県学力調査、全国学力学習状況調査、及び標準学力調査によると小学校は全国平均より低位、中学校においても教科によっては、全国平均を下回っている。</p> <p>(1) このような結果を踏まえどのような要因が考えられるか。</p> <p>(2) 学力向上のため、学力向上支援員を各学校に配置されているが、具体的にどのような活動、支援が行われているか。</p> <p>(3) 中学校においては、塾に通っている生徒が多く見受けられる。各学年、どの程度（生徒の何割程度）が通っているのか。また、他市町の生徒と比べてどうか。</p> <p>2. スポーツ振興について</p> <p>本町におけるスポーツ活動については、盛んに行われており、素晴らしい結果と優秀な成績を収めている。</p> <p>しかしながら、中学校における部活動については、先生方の働き方改革により「休日の部活動は教員の長時間労働の原因となっていたり、指導経験がない教員の大きな負担となっている」とのことで、文科省の改革案では、部活動は「必ずしも教員が担う必要のない業務」という方向性を示している。</p> <p>(1) 本町はどのような体制を考えているか。</p> <p>(2) スポーツ（部活動）により人材育成、健全育成など人間形成に大きな役割を担っている。指導者の育成も必須と思うがどう考えるか。</p> <p>(3) 本町の体育協会と協働し、部活動、クラブ活動を推進してはどうか。</p>		

質問の相手	教育長

通告順位	1 2	通 告 者	8 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 桜つつみ河川公園遊歩道の管理について (1) つつじの伐採や剪定方法はどうか。</p> <p>2. 行政の情報等伝達方法について (1) 波佐見ケーブルテレビの普及と整備・活用をいかに考えるか。</p> <p>3. 今回の官製談合事件について (1) 原因は何か。 (2) 関係者の処分はどうか。 (3) 前回の防止対策等との関係は。</p>		

質問の相手	町 長